

# 2019年度第2四半期 決算説明資料

出光興産株式会社  
2019年11月14日

# 目次

---

## 1. 2019年度第2四半期決算

### (1) 概要

### (2) セグメント別情報

## 2. 2019年度業績予想

### (1) 概要

### (2) セグメント別情報

## 3. 株主還元

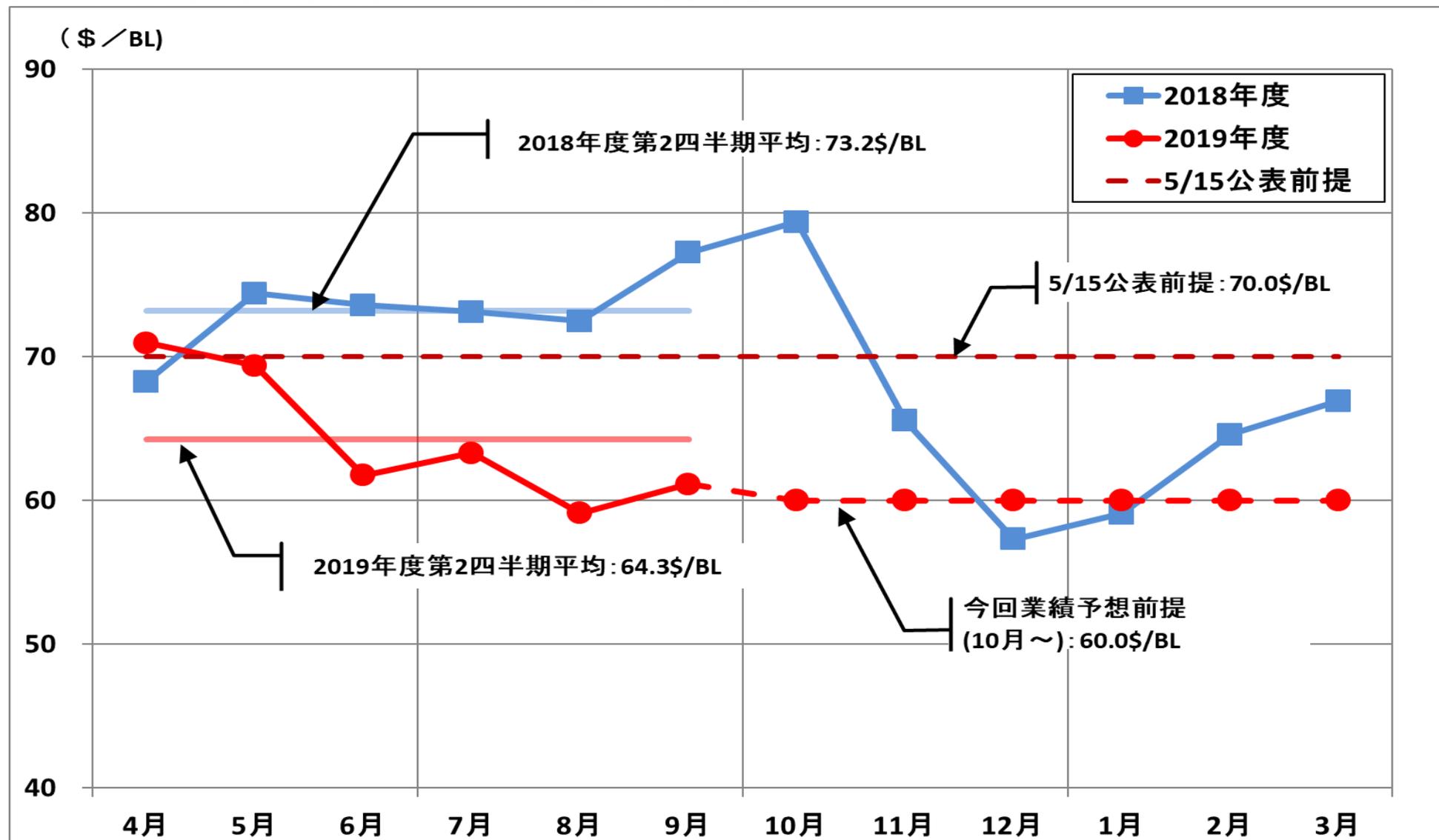
## 4. 参考資料

## 2019年度第2四半期決算

- ・18年度概算：出光興産および昭和シェル石油100%連結ベース合計の概算値
- ・セグメント別情報：営業利益＋持分法投資損益の合計

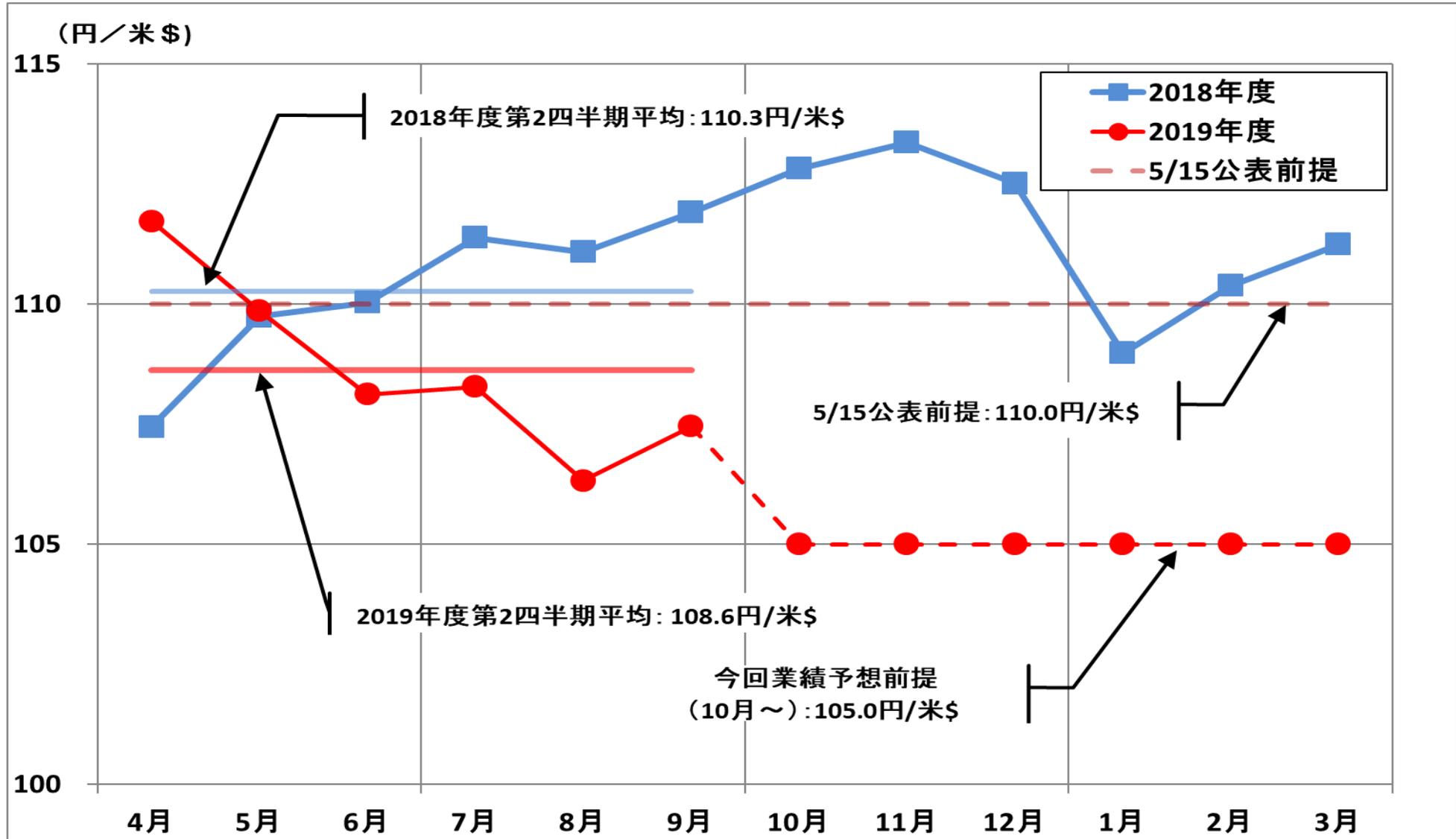
# 原油価格の推移

## 【ドバイ原油価格の月次推移と業績予想前提水準】



# 円／米\$為替レート(TTM)の推移

## 【円／米\$為替レート(TTM)の月次推移と業績予想前提水準】



# 総括

## 【2019年度第2四半期決算】

- 在庫影響を除く営業利益＋持分法投資損益は、タイムラグによる石油製品マージン縮小等で燃料油セグメントが減益となった他、基礎化学品、資源セグメント等の減益から697億円(前年同期比▲874億円)となった。
- 経常利益は531億円(前年同期比▲1,627億円)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、昭和シェル石油との経営統合に関する段階取得差益を計上したこと等から453億円(前年同期比▲902億円)となった。

## 【2019年度業績予想】

- 10月以降の原油価格見直しにより在庫評価影響▲280億円を見込む。  
在庫影響を除く営業利益＋持分法投資損益は、燃料油セグメントの投資先減益や石炭価格見直しによる影響から1,680億円(前回公表比▲520億円)を見込む。
- 経常利益は1,500億円(前回公表比▲785億円)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,000億円(前回公表比▲600億円)に下方修正とした。

# (1)概要

## ①原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	'18年度2Q	'19年度2Q	増 減	
原油価格(トバイ)	73.2	64.3	▲8.9	▲12.2%
原油価格(ブレント)	70.6	66.0	▲4.5	▲6.4%
ナフサ価格(通関)	645	540	▲104	▲16.2%
一般炭価格(NEWC)	103.4	88.1	▲15.3	▲14.8%
為替レート(TTM)	110.3	108.6	▲1.6	▲1.5%

※ブレント価格・一般炭価格は暦年(1~6月)の平均価格

## ②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増 減	
売上高	34,797	30,000	▲4,797	▲13.8%
営業利益	2,137	487	▲1,650	▲77.2%
+ 持分法投資損益	(566)	(▲210)	(▲776)	—
(在庫影響)	(1,571)	(697)	(▲874)	(▲55.7%)
経常利益	2,157	531	▲1,627	▲75.4%
特別損益	▲42	158	+200	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,356	453	▲902	▲66.6%
(在庫影響除き)	(963)	(599)	(▲364)	(▲37.8%)

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

## (2)セグメント別情報

### ①営業利益＋持分法投資損益増減分析(前年比)

(単位：億円)

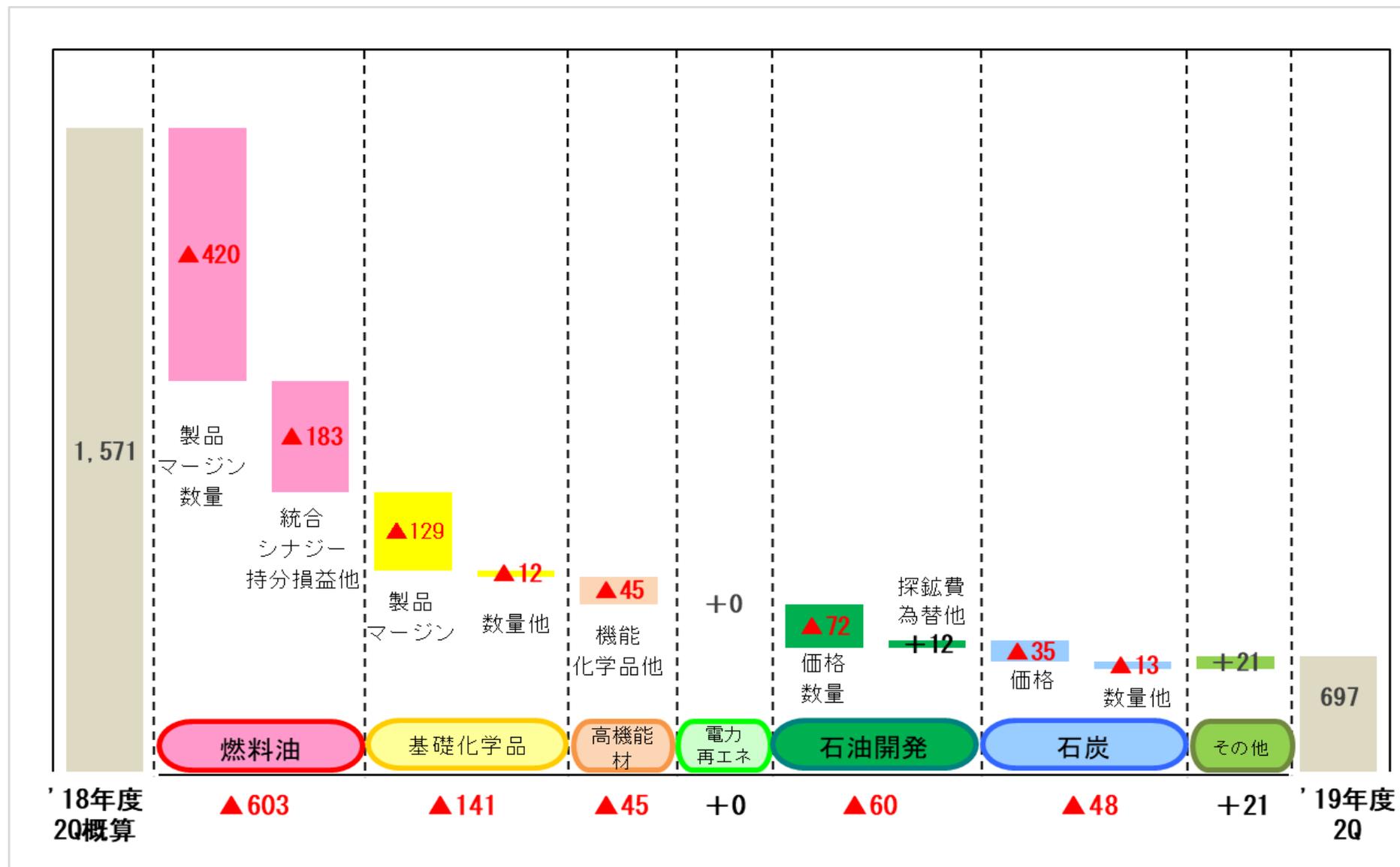
	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増減	
燃 料 油 (在庫影響除き)	1,323 (757)	▲55 (154)	▲1,378 (▲603)	— (▲79.6%)
基礎化学品	284	143	▲141	▲49.8%
高機能材	182	137	▲45	▲24.7%
電 力 再生可能エネルギー	4	4	+0	+11.7%
資 源	371	264	▲107	▲28.7%
(石油開発)	(146)	(86)	(▲60)	(▲40.8%)
(石炭)	(226)	(178)	(▲48)	(▲21.2%)
その他・調整額	▲27	▲6	+21	—
合 計 (在庫影響除き)	2,137 (1,571)	487 (697)	▲1,650 (▲874)	▲77.2% (▲55.7%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

## (2)セグメント別情報

### ②営業利益＋持分法投資損益増減分析(在庫影響除き、前年比)

(単位:億円)



---

# 2019年度業績予想

# (1) 概要

## ① 原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	5/15公表	今回見通し	増 減		10月以降前提
原油価格(トバイ)	70.0	63.1	▲6.9	▲9.9%	60.0
原油価格(ブレント)	72.0	63.4	▲8.6	▲11.9%	61.5
ナフサ価格(通関)	650	515	▲135	▲20.8%	485
一般炭価格(NEWC)	93.0	75.5	▲17.5	▲18.8%	63.0
為替レート(TTM)	110.0	107.5	▲2.5	▲2.3%	105.0

※ブレント価格・一般炭価格は暦年(1~12月)の平均価格

## ② 連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	5/15公表	今回見通し	増 減	
売上高	67,900	61,000	▲6,900	▲10.2%
営業利益				
+	2,200	1,400	▲800	▲36.4%
持分法投資損益				
(在庫影響)	(0)	(▲280)	(▲280)	—
(除 在庫影響)	(2,200)	(1,680)	(▲520)	(▲23.6%)
経常利益	2,285	1,500	▲785	▲34.4%
特別損益	100	90	▲10	▲10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600	1,000	▲600	▲37.5%
(在庫影響除き)	(1,600)	(1,200)	(▲400)	(▲25.0%)

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

## (2)セグメント別情報

### ①営業利益十持分法投資損益増減分析(5/15公表比)

(単位：億円)

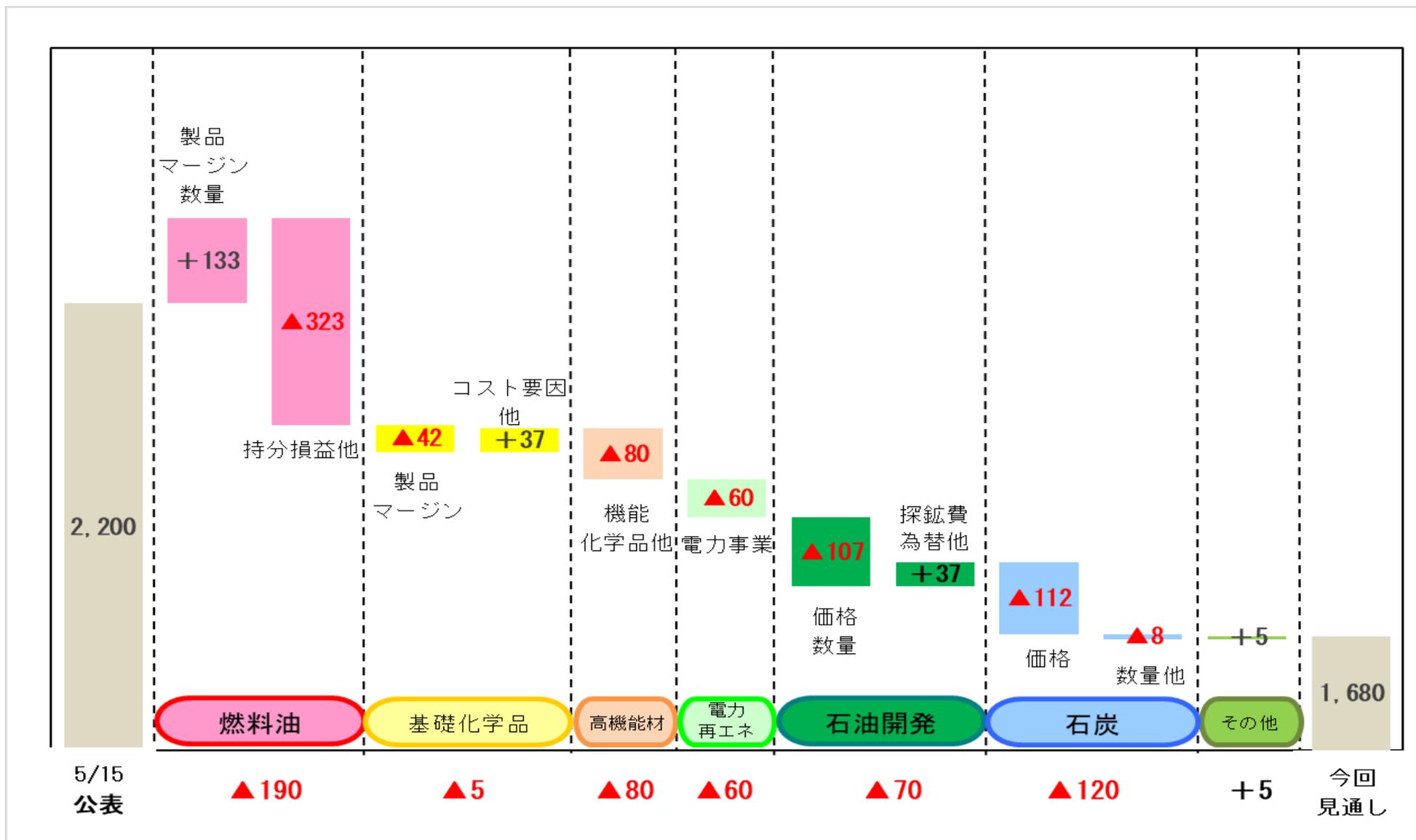
	5/15公表	今回見通し	増減	
<b>燃料油</b>	780	310	▲470	▲60.3%
(在庫影響除き)	(780)	(590)	(▲190)	(▲24.4%)
<b>基礎化学品</b>	455	450	▲5	▲1.1%
<b>高機能材</b>	390	310	▲80	▲20.5%
<b>電力</b>	20	▲40	▲60	—
<b>再生可能エネルギー</b>				
<b>資 源</b>	610	420	▲190	▲31.1%
(石油開発)	(210)	(140)	(▲70)	(▲33.3%)
(石炭)	(400)	(280)	(▲120)	(▲30.0%)
<b>その他・調整額</b>	▲55	▲50	+5	—
<b>合 計</b>	2,200	1,400	▲800	▲36.4%
(在庫影響除き)	(2,200)	(1,680)	(▲520)	(▲23.6%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

# (2)セグメント別情報

## ②営業利益+持分法投資損益増減分析(在庫影響除き、前回比)

(単位:億円)



---

# 株主還元

# 株主還元

## ■方針

株主還元を経営上の重要課題の一つと考え、統合効果を着実に収益に結びつけ、株主還元を実現

## ■2019～2021年度における考え方

当期純利益に対して50%又はそれを上回る株主還元を実施  
(当該株主還元額の10%以上を自己株式取得に充てる予定)

## ■2019年度配当予想

上記方針に基づき、2019年度は1株当たり配当金を160円を予定

1株当たり配当金		第2四半期末	期末	年間
2017年度	(実績)	40円	40円	80円
2018年度	(実績)	50円	50円	100円
2019年度	(実績)	80円	—	—
	(予想)	—	80円	160円

## ■2019年度自己株式取得

2019年11月15日～2020年3月24日に、(上限)120億円、480万株の自己株式取得を実施  
今回取得する自己株式の全株式を消却

## 參考資料

# 目次

---

## 1. 統合新社事業概要

## 2. 決算関連

### (1) 2019年度第2四半期決算

## 3. 感応度

## 4. 販売と生産

### (1) 販売・生産数量実績

### (2) 販売・生産数量見通し

## 5. 市況

## 6. 製油所稼働の状況

## 7. SS数推移

# 1. 統合新社事業概要

## ■ 燃料油

- 原油処理能力 **94.5万BD** \*1)
- 国内燃料油販売量 **4,300万KL /年**
- **SS数 6,500カ所**

## ■ 基礎化学品

(生産能力)

- エチレン **100万t /年**
- パラキシレン **128万t /年** \*2)
- スチレンモノマー **75万t /年**

## ■ 電力・再生可能エネルギー

- 発電能力 **1GW**  
- うち 再生可能エネルギー **0.2GW**
- 太陽電池生産能力 **1GW /年**

## ■ 高機能材

潤滑油、機能化学品、電子材料、  
高機能アスファルト、アグリバイオ、固体電解質

- 潤滑油販売量 **130万KL /年** \*3)

(機能化学品生産能力)

- エンジニアリングプラスチック **11万t /年**
- 粘接着基材 **7.6万t /年**
- 有機EL材料生産能力 **10t /年**

## ■ 資源

- 原油生産量 **2.7万BD**
- 一般炭生産量 **1,200万t /年**

\*1) 石油製品取引契約を締結する富士石油株式会社の原油処理能力を加えると109万BD

\*2) ミックスキシレンの生産能力を含む数値

\*3) シェルブルピカンツジャパン株式会社の販売量を除いた数値

## 2. 決算関連

### (1) 2019年度第2四半期決算

#### ①セグメント別売上高

(単位：億円)

	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増減	
燃 料 油	27,396	23,688	▲3,708	▲13.5%
基礎化学品	3,092	2,343	▲749	▲24.2%
高 機 能 材	2,159	1,960	▲198	▲9.2%
電 力	729	643	▲85	▲11.7%
再生可能エネルギー				
資 源	1,409	1,356	▲53	▲3.7%
(石油開発)	(336)	(260)	(▲76)	(▲22.6%)
(石 炭)	(1,072)	(1,096)	(+23)	(+2.2%)
その他・調整額	13	10	▲3	▲25.2%
合 計	34,797	30,000	▲4,797	▲13.8%

## 2. 決算関連

### (1) 2019年度第2四半期決算

#### ② 特別損益明細

(単位：億円)

	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増減
固定資産売却益	11	20	+9
投資有価証券売却益	0	0	▲0
事業譲渡益	23	0	▲23
その他	76	193	+117
特別利益計	110	212	+103
固定資産売却除却損	22	42	+20
減損損失	108	1	▲107
その他	22	11	▲11
特別損失計	152	54	▲97
特別損益	▲42	158	+200

## 2. 決算関連

### (1) 2019年度第2四半期決算

#### ③ 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	'19/期首	'19/9末	増減		'19/期首	'19/9末	増減
現金・預金	1,417	1,406	▲11	流動負債計	17,812	16,534	▲1,278
売掛債権 たな卸資産等	16,778	15,604	▲1,174	固定負債計	10,604	10,311	▲293
流動資産計	18,195	17,010	▲1,185	負債合計	28,416	26,845	▲1,571
有形固定資産	14,104	14,371	+267	株主資本・ その他包括利益累計額	12,556	12,600	+44
その他固定資産	9,205	8,585	▲620	非支配株主持分	532	521	▲11
固定資産計	23,309	22,956	▲353	純資産計	13,088	13,122	+34
総資産計	41,504	39,967	▲1,537	負債・純資産計	41,504	39,967	▲1,537
				ネットD/Eレシオ	0.75	0.88	0.13
				有利子負債計	10,772	12,448	+1,676
				自己資本比率	30.3%	31.5%	1.3%

## 2. 決算関連

### (1) 2019年度第2四半期決算

#### ④ 連結キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	19年度2Q
営業活動によるCF	▲ 531
税金等調整前純利益	689
減価償却費	477
運転資本の増減	487
その他	▲ 2,183
投資活動によるCF	▲ 545
有形固定資産の取得	▲ 455
その他	▲ 90
財務活動によるCF	1,084
借入金等の増減	1,460
自己株式の取得による支出	▲ 11
その他	▲ 365
現預金等に係る換算差額等	▲ 25
現預金等の増減額	▲ 16
現預金等の期首残高	1,395
現預金等の期末残高	1,379

### 3. 感応度

#### (1) 原油価格1ドル/バレル下落の収支への影響

燃料油	精製用燃料費減少等	+ 1 0 億円
	在庫評価影響の減	▲ 5 0 億円
	計	▲ 4 0 億円
石油開発		▲ 1 0 億円

#### (2) 為替1円/ドル円高の収支への影響

燃料油	精製用燃料費減少等	+ 5 億円
	在庫評価影響の減	▲ 3 0 億円
	計	▲ 2 5 億円
基礎化学品		▲ 5 億円
石油開発		—

※上記の他に、資源事業において、ノルウェークローネ・豪ドル等の為替変動影響を受けます。

## 4. 販売と生産

### (1)－①販売数量実績(燃料油セグメント)

(単位：千KL、%)

	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増減	
ガソリン	7,917	7,385	▲532	▲6.7%
ナフサ	204	115	▲89	▲43.6%
ジェット燃料	2,607	2,626	+19	+0.7%
灯油	997	985	▲12	▲1.2%
軽油	5,641	5,343	▲298	▲5.3%
A重油	1,601	1,426	▲174	▲10.9%
C重油	1,752	1,504	▲248	▲14.2%
国内燃料油販売計	20,719	19,385	▲1,335	▲6.4%
輸出燃料油	2,249	1,709	▲540	▲24.0%
燃料油販売計	22,968	21,093	▲1,875	▲8.2%

## 4. 販売と生産

### (1)－②販売数量実績(基礎化学品セグメント)

(単位：千t、%)

	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増減	
基礎化学品	2,130	1,992	▲138	▲6.5%

### (1)－③潤滑油、機能化学品販売数量実績(高機能材セグメント)

(単位：千KL、千t、%)

	'18年度2Q	'19年度2Q	増減	
潤滑油	629	605	▲23	▲3.7%
機能化学品	308	314	+7	+2.2%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む

※潤滑油販売量はシェルルブリカンツジャパン株式会社の販売量を除く

### (1)－④販売量実績(電力・再生可能エネルギーセグメント)

(単位：百万kWh、%)

	'18年度2Q概算	'19年度2Q	増減	
電力小売販売量	1,134	1,354	+220	+19.4%

## 4. 販売と生産

### (1)－⑤石油開發生産量実績(資源セグメント)

(単位：千BOED)

	'18年度2Q	'19年度2Q	増減	
ノルウェー	28.5	20.7	▲7.8	▲27.3%
生産量合計 (千BOE)	5,160	3,751	▲1,409	▲27.3%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

### (1)－⑥石炭生産量実績(資源セグメント)

(単位：千t)

	'18年度2Q	'19年度2Q	増減	
エンシャム	2,118	2,024	▲94	▲4.4%
マッセルブルック	785	535	▲250	▲31.9%
ボガブライ	2,517	2,605	+88	+3.5%
タラウオンガ	204	0	▲204	▲100.0%
豪州石炭 合計	5,624	5,164	▲460	▲8.2%
マリナウ	560	612	+52	+9.3%
生産量 合計	6,184	5,776	▲408	▲6.6%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

## 4. 販売と生産

### (2)－①販売数量見通し(燃料油セグメント)

(単位：千KL、%)

	5/15 公表	今回見通し	増減	
ガソリン	14,880	14,350	▲530	▲3.6%
ナフサ	390	300	▲90	▲23.0%
ジェット燃料	5,310	5,230	▲80	▲1.5%
灯油	4,610	4,350	▲260	▲5.6%
軽油	11,060	10,700	▲360	▲3.3%
A重油	3,790	3,460	▲330	▲8.7%
C重油	3,300	3,570	+270	+8.2%
国内燃料油販売計	43,340	41,960	▲1,380	▲3.2%
輸出燃料油	3,570	4,650	+1,080	+30.3%
燃料油販売計	46,910	46,610	▲300	▲0.6%

## 4. 販売と生産

### (2)－②販売数量見通し(基礎化学品セグメント)

(単位：千t、%)

	5/15 公表	今回見通し	増減	
基礎化学品	4,270	4,210	▲60	▲1.4%

### (2)－③潤滑油、機能化学品販売数量見通し(高機能材セグメント)

(単位：千KL、千t、%)

	5/15 公表	今回見通し	増減	
潤滑油	1,300	1,250	▲50	▲3.8%
機能化学品	660	640	▲20	▲3.0%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む

※潤滑油販売量はシェルブルリカンツジャパン株式会社の販売量を除く

### (2)－④販売量見通し(電力・再生可能エネルギーセグメント)

(単位：百万kWh、%)

	5/15 公表	今回見通し	増減	
電力小売販売量	2,720	2,810	+90	+3.3%

## 4. 販売と生産

### (2)－⑤石油開發生産量見通し(資源セグメント)

(単位：千BOED、%)

	5/15 公表	今回見通し	増減	
ノルウェー	22.7	21.7	▲1.0	▲4.5%
生産量 (千BOE)	8,300	7,930	▲370	▲4.5%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

### (2)－⑥石炭生産量見通し(資源セグメント)

(単位：千t、%)

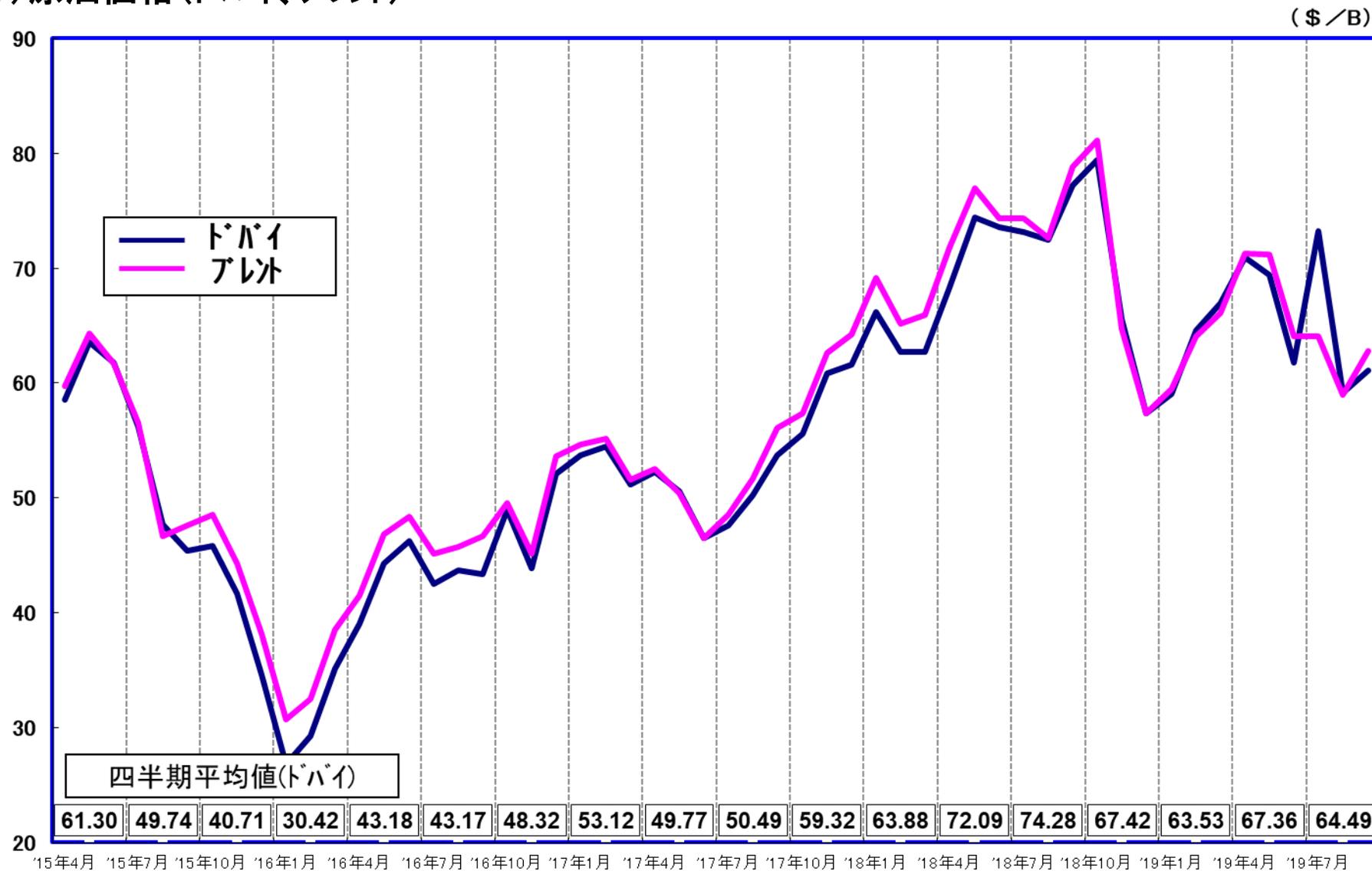
	5/15 公表	今回見通し	増減	
エンシャム	4,360	4,420	60	1.4%
マッセルブルック	1,500	1,330	▲170	▲11.3%
ボガブライ	5,990	5,450	▲540	▲9.0%
タラウオンガ	0	0	+0	-
豪州石炭 合計	11,850	11,200	▲650	▲5.5%
マリナウ	1,230	1,230	+0	+0.0%
生産量 合計	13,080	12,430	▲650	▲5.0%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

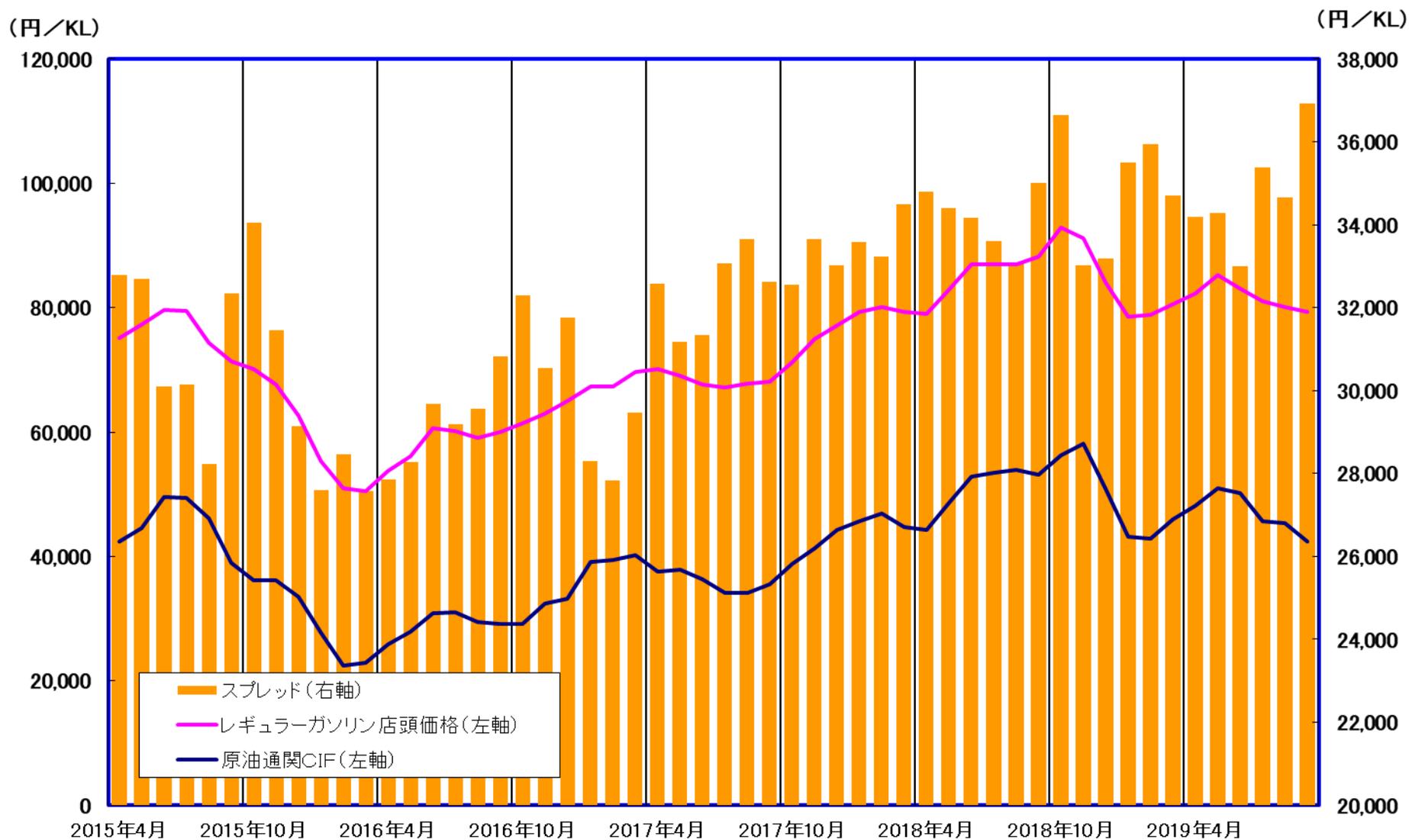
# 5. 市況

## (1)原油価格(ドバイ、ブレント)



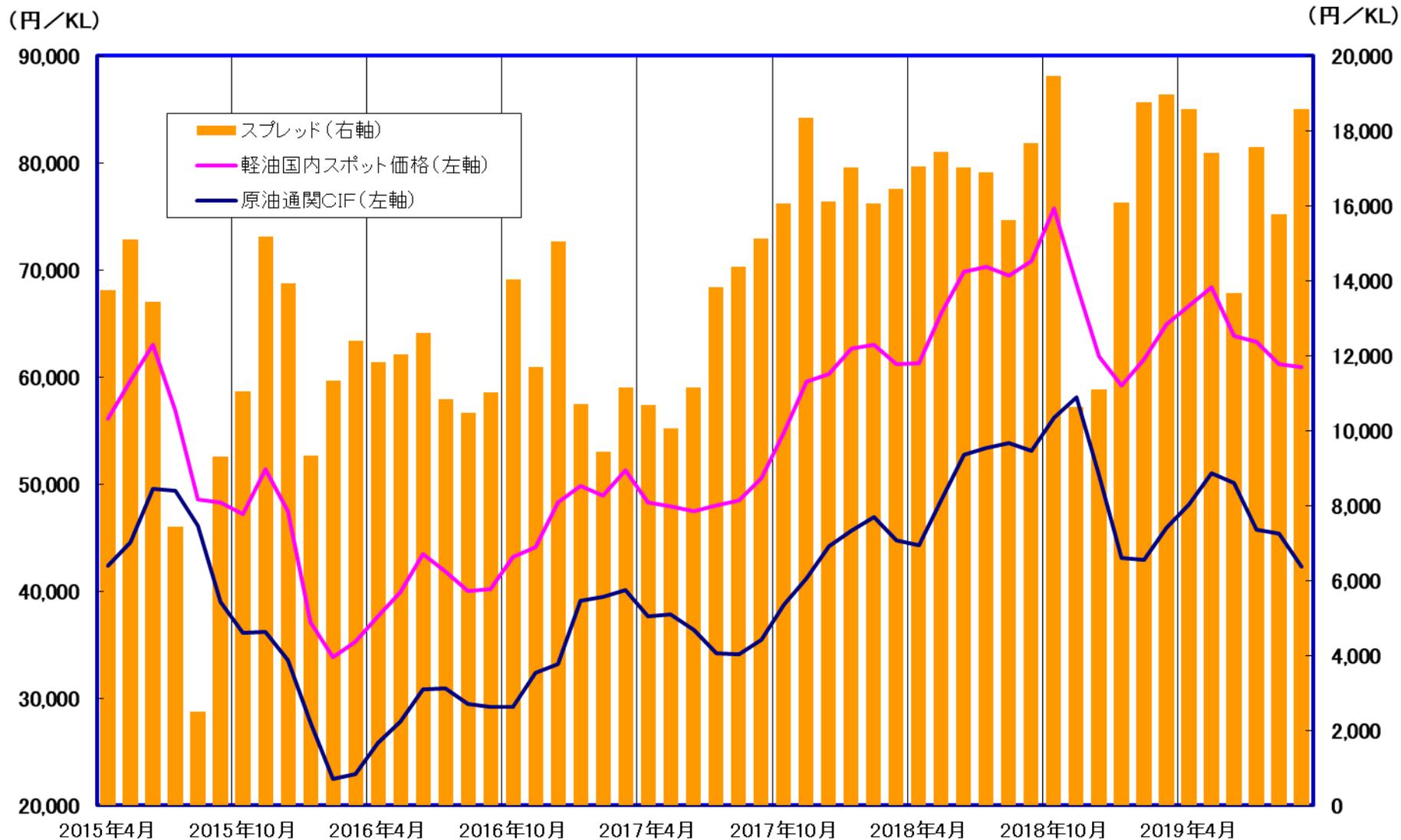
# 5. 市況

## (2) ガソリンー原油CIF (価格推移 & スプレッド)



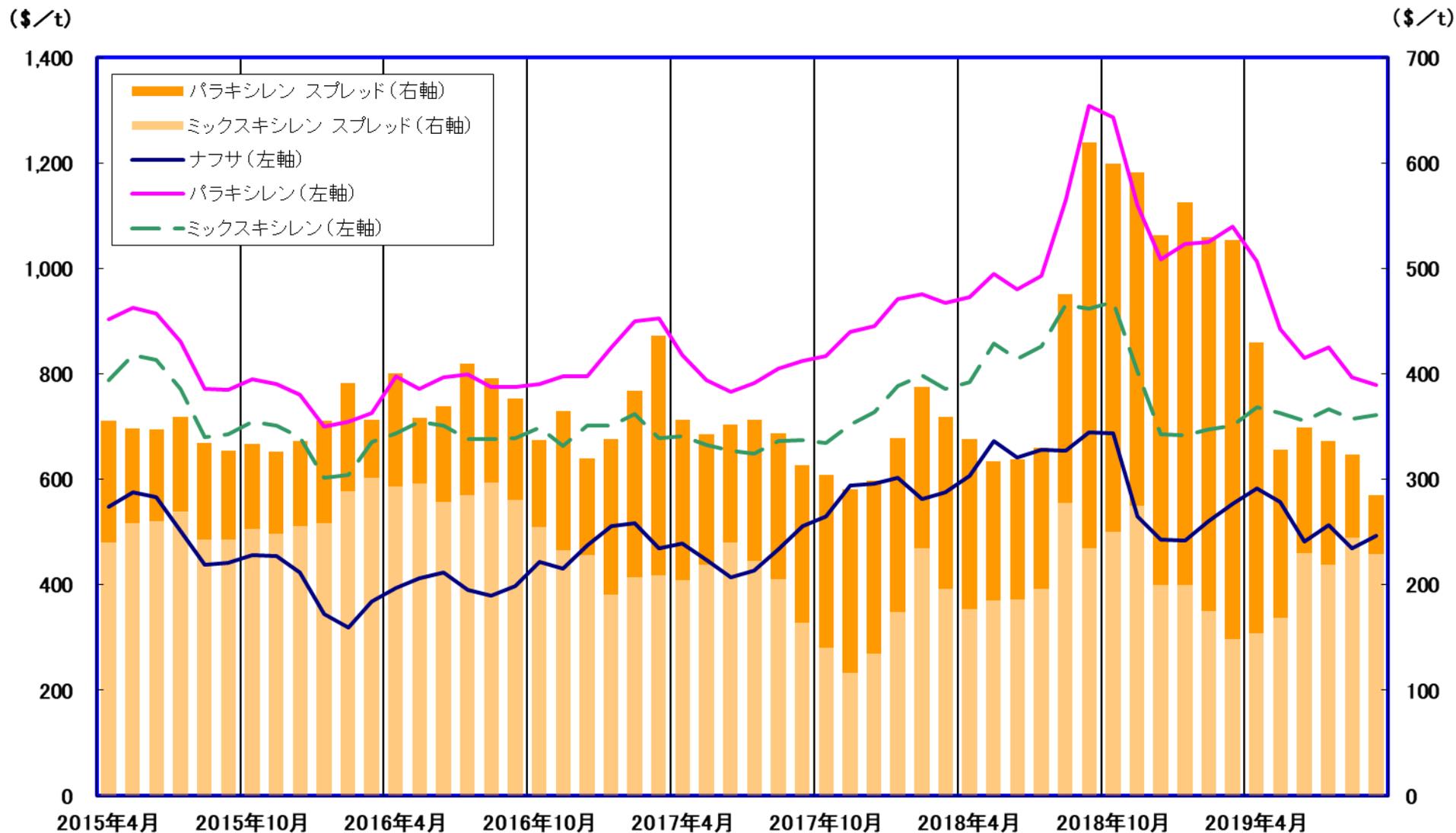
# 5. 市況

## (3) 軽油－原油CIF (価格推移 & スプレッド)



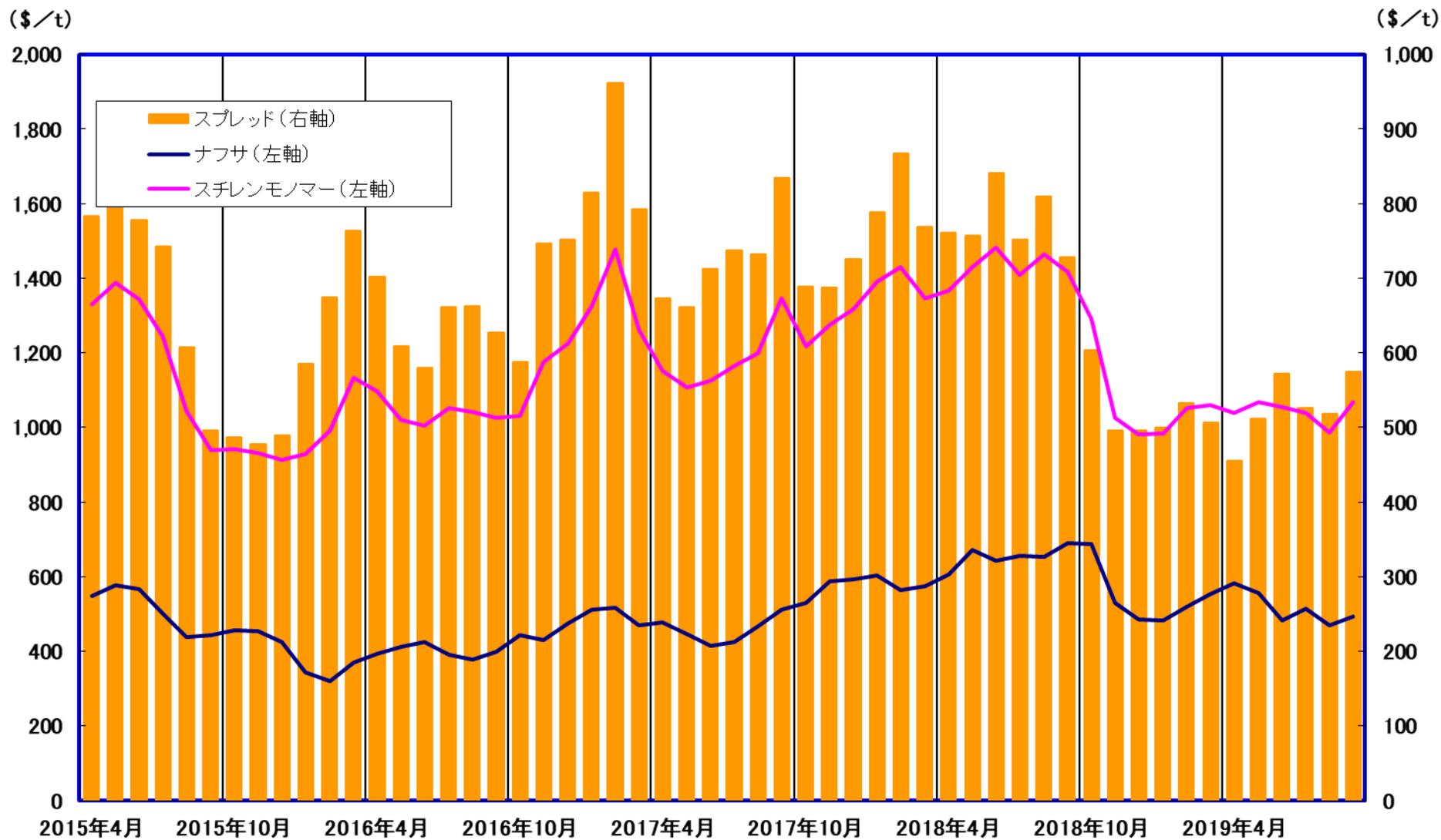
# 5. 市況

## (4) パラキシレン、ミックスキシレン－ナフサ(価格推移&スプレッド)



# 5. 市況

## (5) スチレンモノマーナフサ(価格推移&スプレッド)



## 6. 製油所稼働の状況

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度2Q
出光興産	86%	88%	88%	88%	86%
昭和シェル	91%	85%	88%	93%	

※稼働率はBCDベース

## 7. SS数推移

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度2Q
出光興産	3,666	3,589	3,545	3,501	3,459
昭和シェル	3,193	3,123	3,028	2,964	2,936
合計	6,859	6,712	6,573	6,465	6,395

# 見通しに関する注意事項

---

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。